

◆会社の概況

商号 丸善CHIホールディングス株式会社
(Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.)
本社 〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町31番地2
代表番号 03-6735-0785
URL <https://www.maruzen-chi.co.jp>
設立 2010年2月1日
資本金 30億円
事業内容 書籍及び雑誌等の販売、学術情報その他情報提供サービス業、並びに図書館運営受託業務及び図書館等の教育施設の運営代行、建築工事の設計・監理及び請負業、図書、雑誌の出版業等の事業を営む会社の株式を保有することによる当該会社の事業活動の管理 他

◆グループ会社

- 丸善雄松堂株式会社
〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18
- 株式会社図書館流通センター
〒112-8632 東京都文京区大塚3-1-1
- 株式会社丸善ジュンク堂書店
〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町11-24
- 丸善出版株式会社
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17
神田神保町ビル6階
- 株式会社hontoブックサービス
〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町31番地2

◆役員

取締役会長	中川 清貴	取締役 常勤監査等委員(社外)	吉田 真一
代表取締役社長	松尾 英介	取締役 監査等委員(社外)	茅根 熙和
常務取締役	五味 英隆	取締役 監査等委員(社外)	大胡 誠
取締役	矢野 正也	取締役 監査等委員(社外)	舟橋 宏和
取締役	谷一 文子		

2022年 今後のIRカレンダー

6月中旬	第13期 第1四半期決算発表
7月31日	中間日(株主権利確定日)
9月中旬	第13期 第2四半期決算発表
9月下旬 10月上旬	株主様向け「ビジネスレポート」に 株主優待商品券を同封して発送

1単元(100株)以上ご所有の株主様に、
全国の丸善・ジュンク堂書店の店舗*で
ご利用いただける商品券をお送りいたします。
※ご利用店舗一覧は当社ホームページにて公開しております。

決算情報や株主優待の詳細は
当社ホームページをご覧ください。

<https://www.maruzen-chi.co.jp> 丸善CHI



この報告書は、FSC® 認証紙と、環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しております。

BUSINESS REPORT

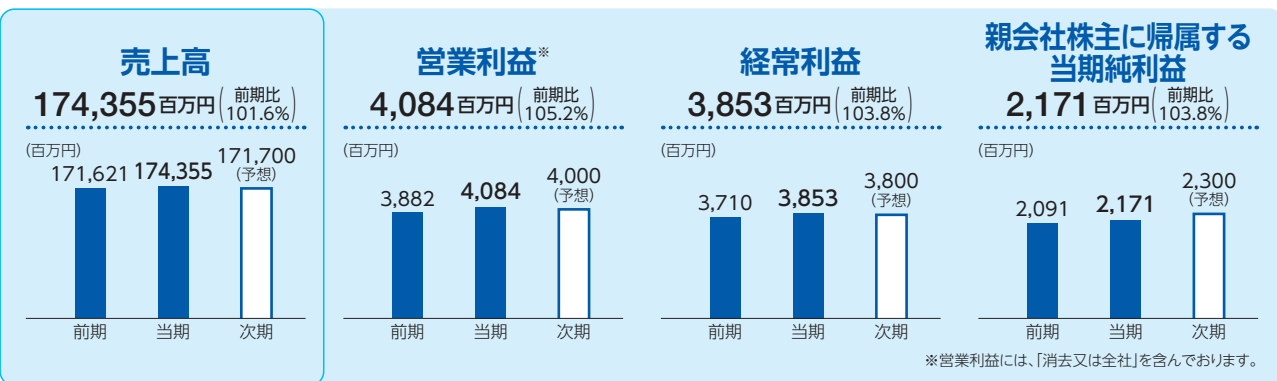
株主・投資家の皆さまへ

第12期 2021.2.1 - 2022.1.31

知

丸善CHIホールディングス株式会社

証券コード：3159



売上高構成比

売上高合計
174,355百万円

文教市場販売事業 32.4%

売上高 56,519百万円 (前期比100.1%)
営業利益 3,705百万円 (前期比123.6%)

●コロナ禍において前期末半から需要が拡大しました公共図書館向け電子図書館、大学向け電子書籍などの売上が引き続き堅調に推移し、売上高は565億19百万円(前期比0.1%増)とほぼ前期並みを確保しました。また販管費削減に注力した結果、営業利益は37億5百万円(前期比23.6%増)と増益となりました。

その他事業 6.9%

売上高 12,015百万円 (前期比89.1%)
営業利益 321百万円 (前期比53.4%)

●総合保育サービス事業は概ね前期並みを確保しましたが、コロナ禍の長期化により店舗内装業において主要顧客の投資意欲が戻らず、大型店の開店や改装案件が減少し、前期に引き続き受注減となりました。その結果、売上高120億15百万円(前期比10.9%減)、営業利益3億21百万円(前期比46.6%減)と減収減益となりました。

出版事業 2.4%

売上高 4,251百万円 (前期比99.7%)
営業利益 248百万円 (前期比86.9%)

●専門分野として『理科年表2022』『自然災害科学・防災の百科事典』『極論で語る循環器内科 第3版』『ペットと暮らす住まいのデザイン 増補改訂版』『コトラーのマーケティング入門 [原書14版]』、児童書として『ほねほねザウルス25』『にじろフェアリーしずくちゃん5 ホワイトスノーファンタジー』『ようかいとりものちょう14』『わたしのマントはぼうしつき』『ペンぎんさん』『しろくまサンタのクリスマス』など、合計新刊244点(前年246点)を刊行いたしました。新刊刊行遅延の影響もあり売上高は42億51百万円(前期比0.3%減)、営業利益は2億48百万円(前期比13.1%減)と減収減益となりました。

店舗・ネット販売事業 40.1%

売上高 69,824百万円 (前期比104.2%)
営業利益 307百万円 (前期比252.3%)

●前期は新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発出及び自治体からの各種要請を受け、2020年4月から5月に全国ほとんどの店舗で休業もしくは営業時間短縮を余儀なくされましたが、当期における営業自粛、営業時間短縮等の対応は地域、期間ともに限定的で、感染対策・衛生管理を徹底した店舗運営に努めた結果、売上高は698億24百万円(前期比4.2%増)、営業利益は3億7百万円(前期比152.3%増)と増収増益となりました。

図書館サポート事業 18.2%

売上高 31,744百万円 (前期比104.5%)
営業利益 2,517百万円 (前期比94.3%)

●図書館受託館数は期初1,676館から21館増加し、2022年1月末時点では、697館(公共図書館557館、大学図書館230館、学校図書館他910館)となり堅調に推移しました。その結果、売上高は317億44百万円(前期比4.5%増)と増収となりました。一方利益面では、コロナ禍における図書館の休館などもあり前年度(2020年4月～2021年3月契約)の図書館内設備の更新等の整備作業が3月に集中したことなどによりコストが増加したため、営業利益は25億17百万円(前期比5.7%減)と減益となりました。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症は、2021年中においても、特に8月以降、変異株による感染の拡大が我が国の社会活動、経済活動に大きな変化を及ぼしました。2年以上に亘るコロナ禍において、当社グループでは、新しい生活様式に求められる商品・サービスの提供や、業務の見直しを進めてまいりました。それらの取り組みの結果も含め、当社グループの2022年1月期連結業績についてご報告いたします。

売上高は1,743億55百万円(前期比1.6%増)、27億円の増収となりました。これは、店舗・ネット販売事業で、特に前期4月から5月にかけて大半の店舗で臨時休業及び営業時間短縮を行っていましたが、当期はこれが限定的であったことから同セグメントで28億円の増収となったことが要因であります。

利益面では、文教市場販売事業は、コロナ禍で需要の高まる電子図書館システム、電子書籍・電子教材の販売に引き続き注力し、また営業や物流等での業務見直しにより経費削減を進めたことで増益となりました。店舗・ネット販売事業は、前述の増収のほか、セルフレジの導入などIT活用による業務効率化を進めた結果、人流抑制など引き続き厳しい環境下にはありましたが、増益を確保いたしました。

一方で、店舗向け設備・内装事業が、コロナ禍により顧客である小売店等の投資意欲が引き続き大きく落ち込んでいる影響を受けたことで、その他事業では減益となりました。

これらの取り組みの結果、営業利益は40億84百万円(前期比5.2%増)、経常利益は38億53百万円(前期比3.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は21億71百万円(前期比3.8%増)と、それぞれ増益を確保することができました。

2023年1月期の当社グループ連結業績見通しは、さらなる変異種の発生等による新型コロナウイルス感染症の影響が不透明であることも踏まえ、売上高は1,717億円、営業利益は40

億円、経常利益は38億円、親会社株主に帰属する当期純利益は23億円を見込んでおります。

当社グループでは、「知は社会の礎である」の経営理念のもと「学びとともに生きる社会への取り組み」「地域創生への貢献」「新しい書店収益モデルの創造」の3つの主要戦略テーマに引き続き取り組んでまいりますが、コロナ禍を経た生活者の行動様式の変化を背景に、高速通信環境やコンテンツのデジタル化などにおける情報技術革新は今後、一層急速な発展をするものと考えております。このようなデジタル化社会への急激な変化の中でも、より多くの方々へ時代に即した最適なかたちで、知や情報をお届けすることで、成長を図ってまいります。

そのための取り組みとして現在、2024年中の事業化を目指し、デジタル化が進む書籍コンテンツを用いたデータベース事業やサブスクリプションビジネス、またこれまでの大学や研究者との深い繋がりやブランド力を活かした、オンラインでの学びの場の提供などの新規事業開発に着手しております。

当社グループはこれからの時代においても、グループビジョンである「知の生成と流通に革新をもたらす企業集団となる」を目指してまいり所存ですので、株主の皆様には、今後ともご指導ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。



丸善 CHIホールディングス株式会社
代表取締役社長

松尾 英介

TOPICS

トピックス

丸善シンク堂書店

児童書担当書店員が企画した絵本グッズの店「EHONS TOKYO」がオープン

2021年10月20日、丸善 丸の内本店の2階に、絵本の世界をモチーフにしたグッズの企画・販売を行う新店舗「EHONS TOKYO(エホンズトーキョー)」をオープンいたしました。

EHONS TOKYOは、多くの人が小さな頃から親しんだ童話の世界や、好きな主人公が登場する物語を、絵本だけでなく、文具や雑貨のグッズとともに楽しんでいただける空間です。

さらに、丸善 丸の内本店の児童書担当書店員が、絵本のキャラクターやストーリーをモチーフに企画制作した、EHONSでしか買えないオリジナルグッズも販売しています。

読書による感動や喜びを様々なかたちで伝えていくことは、本に対する知識と愛情のある書店だからこそできることです。EHONS TOKYOは「絵本の世界観を楽しむことができる空間」というコンセプトのもと、今後も新商品の開発やイベントなども企画していきます。また、2021年12月からは「EHONS MARCHE(エホンズマルシェ)」として丸善 ラゾーナ川崎店でEHONSオリジナル商品の販売も始まり、今後は東京以外の地域での出店・販売も計画しています。



丸善 丸の内本店2階「EHONS TOKYO」

丸善雄松堂(株)

丸善雄松堂(株)

香川県善通寺市の新図書館、子ども・家庭支援センターの運営を開始

丸善雄松堂を代表企業とする、図書館流通センター(TRC)を含む共同事業体は、2022年1月より指定管理者となり、香川県善通寺市の公園庁舎の中に新たに設けられた「市立図書館」「子ども・家庭支援センター」の運営を開始しました。この公園庁舎は新築庁舎を含む敷地全体を1つの公園として捉えた市民交流の核となる場所で、図書館は主としてTRCが、子ども・家庭支援センターは丸善雄松堂が企画・運営を担っています。

丸善雄松堂は、3月にオープニングイベントとして同施設内で米国領事館と連携した「米国の絵本」の読み聞かせを実施、今後もその国の文化の紹介から世界各国の子育てをテーマとした講演会やワークショップなど様々な企画を実施していく予定です。さらに丸善雄松堂は、地元の香川大学と首都圏の津田塾大学、芝浦工業大学を繋ぎ、地域活性化の研究学習を実践する授業の中で学生が出したアイデアをまちづくりの提案に活かすなど産官学連携コーディネートを行っています。

こうした活動を通じ、善通寺市が掲げる「まち・ひと・歴史をつなぐ公園庁舎」の理念に基づく施設運営を当社グループの力を合わせて行うことにより、公共施設運営を起点とした地域創生事業を推進してまいります。



図書館内観



善通寺市庁舎外観

丸善CHIホールディングス(株)

東証新市場区分において「スタンダード市場」に移行

当社は、2022年4月4日に行われた(株)東京証券取引所の新市場区分変更にあたり、「スタンダード市場」を選択し、移行いたしました。市場区分の選択に当たっては、当社の経営戦略をはじめ、様々な要素を総合的に検討したうえで、「スタンダード市場」の市場区分のコンセプトが当社にとってもっとも親和性が高いと判断いたしました。

当社グループは主に国内における出版コンテンツ流通、公共図書館及び教育市場に注力した成長戦略を遂行し、事業基盤の強化を推進するとともに、コーポレートガバナンスの充実に取り組むことで、持続的な成長と中長期的な企業価値向上に努めてまいります。



建築家・安藤忠雄氏が手掛けた「こども本の森 神戸」がオープン

兵庫県神戸市の東遊園地内に建築が進められていた「こども本の森 神戸」が、2022年3月25日に開館しました。安藤忠雄氏が設計し寄贈した「こども本の森」は、中之島(大阪市北区)、遠野(岩手県遠野市)に続きこれで3館となりました。「TRC&長谷工 meet BACH」*が指定管理者として運営するこの施設は2階建てで、延床面積は約570平方メートル、壁一面を本棚として活用し、館内にある約1万8千冊の本は神戸市が選書してBACHが配架計画監修を行っています。

「こどもたちが命の大切さを学び、豊かな感性と想像力を育む場」という基本コンセプトのもと、こどもたちが自由に本とふれあうことで、震災の教訓から命の大切さを学び、想像力を高める施設として期待されています。蔵書はテーマごとに「森」と称され、「いのちの森」「こうべの森」「うみのむこうの森」など、15の「森」に沿って分類・配架されています。

本施設では本の貸し出しは行っていませんが、天気の良い日には、東遊園地内に本を持ち出して公園やウッドデッキで読むことができる仕組みがあります。また、ここでしか購入できない文具や雑貨などの各種オリジナルグッズも販売します。

*「TRC&長谷工 meet BACH」は、(株)図書館流通センター(TRC)、(有)パッハ、(株)長谷工コミュニティの共同企業体です(代表企業:TRC)。



書架の前で絵本を選ぶこども
photo: junpei iwamoto (DOR)



「こども本の森 神戸」外観

理工系学問に親しみを深める電子マンガプロジェクト

IEEE「アイ・トリプル・イー」は、人類社会の有益な技術革新に貢献する世界最大の専門家組織で、世界160カ国以上、40万人を超える会員で構成されています。研究者や専門家の間で専門的な情報を共有するだけではなく、子供も含めた一般の人々にも現在の研究課題や、未来に想像される科学技術のアイデアをわかりやすく伝え、理工系学問の面白さや楽しさを知ってもらうことも重視しています。

このたび、IEEE Japan Council、大日本印刷(株)、丸善雄松堂の共同プロジェクトではマンガを通じて将来の技術革新にも繋がるような理工系ファンを増やすことを目的に、2022年1月より電子マンガ3作品(日本語版/英語版)を無料公開しています。

今回の作品はIEEE Japan Councilが学生会員を対象にマンガプロットコンテストを開催して選ばれたもので、組織所属の研究者・学生・事務局職員によって監修され、大日本印刷(株)の制作支援のもとでプロ作家陣によって作品化、丸善雄松堂が出版元となって刊行となりました。今回の閲覧数や学会内外からの評価を参考にして、シリーズ化、連載化、多言語化なども見越しています。



企画マンガ
「おひよう!リコちゃん」

丸善雄松堂(株)

丸善雄松堂(株)

連結財務データ

◆ 財政状態 (単位: 百万円)

	当期末 (2022年1月31日現在)	前期末 (2021年1月31日現在)
総資産	128,357	134,440
● 流動資産	91,226	96,759
● 固定資産	37,113	37,638
(有形固定資産)	22,566	23,207
(無形固定資産)	1,441	1,549
(投資その他の資産)	13,104	12,880
● 繰延資産	17	43
負債	84,827	92,874
● 流動負債	59,251	70,030
● 固定負債	25,575	22,844
純資産	43,530	41,565
● 株主資本	42,941	40,917
● その他の包括利益累計額	△ 254	△ 604
● 非支配株主持分	842	1,253

◆ 損益の状況 (単位: 百万円)

	当期 (2021年2月1日から 2022年1月31日まで)	前期 (2020年2月1日から 2021年1月31日まで)
● 売上高	174,355	171,621
● 営業利益	4,084	3,882
● 経常利益	3,853	3,710
● 親会社株主に帰属する当期純利益	2,171	2,091

◆ キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)

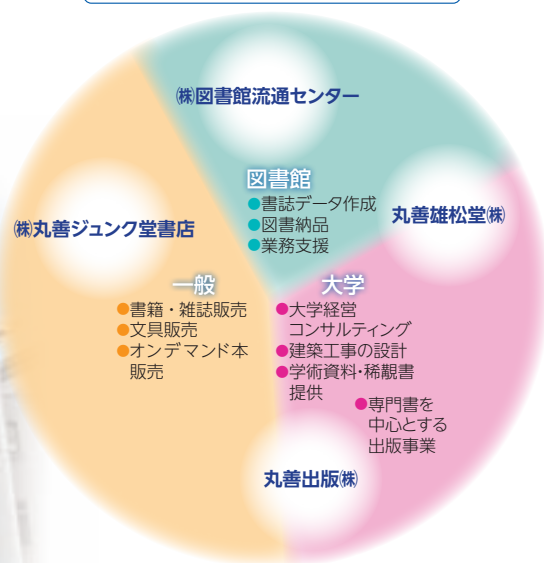
	当期 (2021年2月1日から 2022年1月31日まで)	前期 (2020年2月1日から 2021年1月31日まで)
● 営業活動によるキャッシュ・フロー	7,429	6,638
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,465	△ 3,888
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,444	△ 2,567
● 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 7	0
● 現金及び現金同等物の増減額	511	182
● 現金及び現金同等物の期首残高	22,667	22,344
● 合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	139
● 現金及び現金同等物の期末残高	23,179	22,667

グループ一覧

当社グループは、日本の知の発展のために、紙や電子の垣根を越えて、あらゆる利用者が「必要なときに、必要な形態で」知を得ることのできる快適なプラットフォームを提供してまいります。



丸善CHIホールディングス(株)



株式情報 (2022年1月31日現在)

◆ 株式の状況

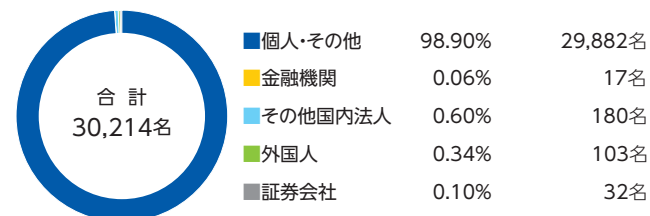
発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	92,554,085株
株主数	30,214名

◆ 大株主一覧

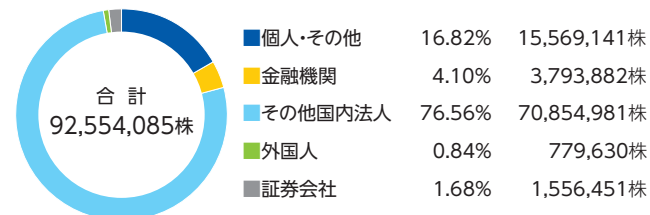
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大日本印刷株式会社	49,528,336	53.51
株式会社フォルトウナ	5,317,810	5.74
株式会社講談社	4,028,000	4.35
株式会社トーハン	3,694,406	3.99
有限会社淳久堂	2,708,000	2.92
株式会社小学館	2,203,500	2.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,989,400	2.14
丸善CHIホールディングス従業員持株会	1,456,977	1.57
工藤 恭孝	1,390,800	1.50
石井 昭	1,306,426	1.41

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

◆ 所有者別株主分布状況



◆ 所有者別株式分布状況



※個人・その他には自己株式7,037株を含んでおります。

株主メモ

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
基準日	毎年1月31日
株主総会	毎年4月
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告による公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
〈公告掲載URL〉	https://www.maruzen-chi.co.jp
上場	東京証券取引所スタンダード市場
証券コード	3159

株式事務の取扱場所

株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-1 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	〒168-0063
同事務取扱場所	東京都杉並区和泉2-8-4
〔郵便物送付先〕	三井住友信託銀行株式会社証券代行部
〔電話照会先〕	電話フリーダイヤル0120-782-031
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社全国各支店

住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の変更等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

配当金のお受け取りについて

配当金を配当金領収証でお受け取りの株主様は、より安全かつ迅速に配当金をお受け取りいただける、口座振込のご利用をおすすめいたします。お手続きについては、上記同様に証券会社もしくは三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。